令和６年度
奈良市議会と奈良大学ワークショップ報告書

奈良市議会

目　次

Ⅰ．ワークショップの概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
Ⅱ．ワークショップの内容
　１回目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
　２回目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
　３回目
　　総務委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
　　観光文教委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
　　厚生消防委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
　　市民環境委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
　　建設企業委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５

Ⅰ．ワークショップの概要

〇目的

◆市議会として

大学生に市議会の役割に対して関心や興味を持っていただき、地方政治をより身近に感じてもらうための各種機会を提供し、奈良市の未来を担う人材育成につなげていくこと。

◆大学として

「リサーチオリエンテッドの精神の下、現実の問題にアプローチするために、自ら問題を発見し、解決していくため必要な、姿勢と技術を身に付けること」という大きな目標の下、学生たちが市政や地域社会への理解と関心を深めるとともに、今住む地域の様々な課題への具体的なアプローチ法、解決のための考え方、政策決定など、地域の中で実際活躍されている方々から学ぶこと。

〇開催日時

【１回目】令和６年１０月７日

【２回目】令和６年１０月１４日、１０月２１日（議会からの出席は無し）

【３回目】令和６年１１月１８日

大学の授業時間枠　月曜日１４時４０分～１６時１０分（９０分間）

〇参加議員

・森岡　弘之議長

・大学連携推進チーム

太田　晃司副議長

山本　憲宥議会運営委員長

樋口　清二郎議会運営副委員長

・総務委員会	山出　哲史副委員長	山岡　稔季委員
・観光文教委員会	塚本　勝委員長	岡本　誠至副委員長
・厚生消防委員会	阪本　美知子委員長	桝井　隆志副委員長
・市民環境委員会	山本　直子委員長	下村　千恵副委員長
・建設企業委員会	早田　哲朗委員長	榎本　博一副委員長

〇参加学生

社会学部総合社会学科１年生

【１回目】２５名　【３回目】２９名

〇内容

【１回目】１０月７日

山本憲宥委員長の講義　テーマ「奈良市政についての理解、委員会の概要」

常任委員会別ワークショップのテーマの提示

市の補助事業等で活動する学生の発表

【２回目】１０月１４日、１０月２１日

提示されたテーマを受けて、３回目に向けた学生の自主学習・発表準備

【３回目】１１月１８日

常任委員会別ワークショップ

（各委員会の教室に分かれて学生の発表、意見交換）

〇委員会別テーマ（課題）

◆総務委員会

８月８日（木）午後４時４２分ごろ、日向灘を震源とする地震が発生しました。その約２時間３０分後に気象庁が初めて「南海トラフ地震臨時情報」（巨大地震注意）を発表しています。注意情報は８月１５日で終了しましたが、私たちはこの巨大地震にどのように備えたらよいでしょうか。様々な視点からの取組の提案をお願いします。

◆観光文教委員会

教員の働き方改革については、本市においても重要視されており、昨年度からは部活動の時間短縮等も行われています。教員の多岐にわたる業務内容を調べて、他にどんな業務であれば合理化できるのかを、そこに至った考えや根拠を踏まえた上で、提案してください。

◆厚生消防委員会

少子高齢化社会にあって、子育てしやすいまちをめざすことは大変重要です。子育ての不安解消、経済的負担の軽減などできることはたくさんあると思います。奈良市は令和６年３月に子育てニーズ調査の結果を公表しています。奈良市が実際にやっている施策、全国的な取組を参考にしながら、さらにこんなことがあればいいなということを提案してください。子どもの年齢を就学前、小学校、中学校、高校、大学に分けると考えやすいかもしれません。

◆市民環境委員会

マイナンバーカードの普及と利用促進、市役所窓口の混雑緩和のためという目的で行われている住民票などのコンビニ交付。奈良市は、「コンビニ交付１０円」を期間限定で行っています。
この「１０円」交付はほんとうに安い？みなさんで少し調べて考えてみて下さい。

◆建設企業委員会

「高の原駅前再整備計画について」
高の原エリアは、奈良市・木津川市・精華町の３市町にまたがる平城・相楽ニュータウンで、まちびらき５０周年を迎え、奈良市では、官・民・地域の協議によるまちづくりも進行中です。
多世代がつながる「高の原らしさ」と暮らしの魅力の発信など将来的な在り方についてプレゼンしてください。

Ⅱ．ワークショップの内容

１回目（１０月７日）

〇山本憲宥委員長の講義

◆講義内容

テーマ「奈良市政についての理解、委員会の概要」

①自己紹介

②はじめに

・議員の仕事って？

・議会以外での仕事や活動は？

③市政について

・市議会とは一体何なのか

・市議会の構成や、仕事内容

・市議会のしくみ、一年の流れ

④委員会の概要

⑤常任委員会の紹介

・五つの常任委員会の紹介とワークショップで扱うテーマの提示

・その他委員会の紹介

⑥政治と教育について

・約６０分の持ち時間の中で、自己紹介から始め、市議会議員の仕事内容の説明、議会以外での仕事や活動内容の説明をした。議員の仕事内容の説明では、議場での審議・採決の様子について、動画を交えながらより理解が深まる内容にし、議員の仕事の一つである「質問」については、議会質問の研究者である大学教授の研究内容を紹介しながら、同様に動画を交えて理解が深まる講義内容にした。

・また、議会以外での仕事や活動については、私自身の姿を紹介しつつも、多くの議員が同様の活動をされている姿を紹介した。奈良市政についての説明では、市議会とは一体何なのか、市議会のしくみや一年の流れについて資料を示しながら講義を行った。

・最後の政治と教育については、公職選挙法改正で２０１６年に施行された、いわゆる１８歳選挙権について、年齢別の投票率の資料を用いながら、若者世代が政治に関心を持っていただく取組について、総務省の資料を示し、学生さんに「選挙に行こう！」と呼び掛ける内容とした。

◆議員の感想、その他

・社会学部総合社会学科の１年生が、地域や社会への関心を高め、実践的な課題解決能力を身に付けることを目的とした必須科目の「基礎演習Ⅱ」の講義であることから、より実践的な内容の講義を心掛けながらも、なるべく分かりやすい講義内容になるようパワーポイント資料は思考を凝らし作成した。

・議員の仕事内容や、普段の生活については、学生さんにも興味を持っていただける内容をできるだけ多く取り入れ、奈良市議会での質疑や議案審査についてはニュース番組の動画を取り入れた資料で、内容・雰囲気がより伝わる講義とした。

・学生さんからの講義のアンケートでは、ボランティア活動への意欲や、議会での質疑が答弁調整で事前に質問を相手に提示していることへの、疑問などの意見もあったことから、議員の仕事内容の理解と合わせ、議会での審議についてより身近に感じていただけたのではないかと思う。

◆学生の感想

講義を聞いて、市政、市議会の活動について考えたこと、感じたこと

・市民が直接選挙で市議会議員を決めているからには、市の運営に関心を持っていないことは市民として無責任だと気が付いた。今回の講義を通して市議会の存在意義を学ぶことができた。

・とても難しい職業だとの認識はあったけど、議会や様々なことを市民のために行っていると思うと、とても大変だと感じた。

・常任委員会の六つの他にも広報、議会運営等の委員会があり、重要な役割を果たしていることを知った。委員会のテーマをしっかり調べて次回に臨みたいと感じた。

・地方議会とは地域に密着し、身近な政治であると思った。今でも硬い印象はあるが、地域活性化イベントへの参加など議会以外の活動も沢山あることを知った。今回の講義で、市議会がより生活の身近に感じられるようになった。

・議会での質問も重要な仕事であることを改めて認識した。

・市政、市議会といった硬い言葉を聞くと、どこか住む世界が違うような気もしてしまうところもあったが、今回の講義を聞いて自分たちの生活のすぐ近くに根付いていたのだと感じた。

・市議会でどのような事について話し合っているのかを少し知ることができた。市議会の話を個人的にはあまり聞くことがないので、難しいかもしれないが、ＳＮＳを上手く活用できれば、更に市議会の活動内容を伝えられて良いのではないかと思った。

市政、市議会についてもっと詳しく知りたいこと、その他

・市議会の定数はなぜ３９なのか気になった。

・他の市議会と違って、奈良市議会独自の政策や活動、また将来していきたいこと等を知りたいと思った。
・実際に条例案が通過した時、いつからその施策が始まるかを知りたい。
・なら燈花会やボランティア活動、市の活性化について多くの話を聞けた。その中で活性化するために具体的にどうすれば良いか、市民も手伝えるのかを知りたい。
・若者の政治離れが日本全体で言われている中で、奈良市議会として若い世代に訴え掛けるような活動を更に詳しく知りたい。

〇市が補助する「地域に飛び出す学生支援事業」等で活動する学生の発表

◆テーマ

・未来を創る平等：大学生が考える奈良市の男女共同参画推進策
・自分を守る、未来を守る：若者に広めるリプロダクティブヘルスと性感染症予防

学生から取組についての発表を受けた後、正副議長、議会運営正副委員長から発表された内容や活動の詳細、テーマを選んだ背景などについて質問やコメントをした。質問に対して、学生達は講義の内容を踏まえ回答するなど、和やかな雰囲気での交流となった。

２回目（１０月１４日、２１日）

議員から提示されたテーマを受けて、学生の自主学習・資料作成・発表準備

※議会からの出席は無し

３回目（１１月１８日）

〇講師の紹介（樋口副委員長）

始めに樋口副委員長から出席議員の紹介を行った。

〇総務委員会（山出副委員長、山岡委員）

◆テーマ（課題）

８月８日（木）午後４時４２分ごろ、日向灘を震源とする地震が発生しました。その約２時間３０分後に気象庁が初めて「南海トラフ地震臨時情報」（巨大地震注意）を発表しています。注意情報は８月１５日で終了しましたが、私たちはこの巨大地震にどのように備えたらよいでしょうか。様々な視点からの取組の提案をお願いします。

◆学生の発表内容

発表の主題：「巨大地震から奈良を守るには？」

【課題設定】

１．外国人観光客への対応について

※奈良市には大規模なホテルが少ない

２．避難所の在り方について

３．災害関連情報のデータが古いことについて

※南海トラフ地震の被害想定（奈良県ホームページ掲載データ：２００４年作成）

４．内陸型地震の危険性の周知について

【対応策案】

課題１に対して

・英語だけでなく多言語による案内や説明文が必要

・表示案内だけでなく音声案内が必要

課題２に対して

・避難所となっている学校の体育館などの環境の改善

・耐震化の推進（奈良市教委２０１９年４月１日のデータを参照）

・エアコンの設置　・断熱性を高める　・トイレの充実　・備蓄品の内容の充実

・非常電源の確保　・貯水槽の活用

・コンベンションセンターなどの大型施設の活用

・平城宮跡の活用

・インスタントハウス、トレーラーハウスの導入

課題３、４に対しては提案なし

◆発表に対するコメント、質疑応答、意見交換

・発表のスライドはとても見やすくデザインされていた。また、内容も整理されていて分かりやすかった。

・質疑応答の内容

①発表のテーマ「巨大地震から奈良を守るには？」の主語は誰か？

⇒奈良市行政である。したがって、今回の発表は奈良市行政に対する防災施策の提案になっている。

②スライドを作成するのにどこから情報を得たか？

⇒奈良県や奈良地方気象台のホームページ及び書籍から得た。

③奈良市行政に対する提案ならば奈良市のホームページは確認したか？

⇒閲覧したが、被害想定は掲載されていなかった。

④個人で災害への備えをしているか？

⇒・寝室にたんすなどの重量の大きな家具を置いていない。

・ポールを組み合わせて収納スペースを作っている。

・玄関に災害時持ち出し用のリュックを用意している。

・家族で待ち合わせ場所を決めている。

・食品、飲料の備蓄を始めた。

・家族で災害時の対応について話し合っている。

※１月１日に発生した能登半島地震や南海トラフ地震臨時情報がきっかけになった。

⑤防災の啓発に関して何かアイデアはないか？

⇒小学生などを対象とした防災ポスターコンペの開催

◆議員の感想、その他

・「元旦に発生した能登半島地震、各地で頻発している豪雨災害、南海トラフ地震臨時情報の発表などに触れて、災害が身近な問題になった」と、質疑応答や意見交換の中で参加学生全員（４名）が異口同音に発言した。また、それぞれに個人や家族ぐるみで災害への備えを始めていること、今後も何らかの形で防災に関わっていきたいと語った。奈良市の行政運営に関わる者としてとても勇気づけられ、応援したいと思った。

・最後にフリートークの時間をとった際の忘れられない発言

「小学校の校舎などの劣化がひどい。壁の塗料が剥がれて垂れ下がっている。黒ずんでいる。あちらこちらが壊れたままになっている。悲しくなる。何とかしてほしい。」

〇観光文教委員会（塚本委員長、岡本副委員長）

◆テーマ（課題）

教員の働き方改革については、本市においても重要視されており、昨年度からは部活動の時間短縮等も行われています。教員の多岐にわたる業務内容を調べて、他にどんな業務であれば合理化できるのかを、そこに至った考えや根拠を踏まえた上で、提案してください。

◆学生の発表内容

評価業務の効率化

・成績評価やテストの採点にかかる時間を短縮

・児童評価システムやデジタル採点ツールの導入を検討

書類作成や事業作業の効率化

・書類作成や事務作業を自動化し、負担を減らす

・電子決裁システムの導入を推進

授業準備の効率化
・デジタル教材や共有プラットフォームを活用し、授業準備を効率化
・授業準備時間の大幅な削減を目指す
生徒相談業務の効率化
・生徒相談業務をオンライン化し、対応時間を短縮
・専門カウンセラーの増員による負担軽減
行事の運営の効率化
・学校行事の運営を専門スタッフに委任し、教員の負担を軽減
・一部の業務を外部に委託することを推進

◆発表に対するコメント、質疑応答、意見交換
課題と懸念
・公務負担の限界　・部活動時間短縮の影響　・デジタル化の課題
・予算と人員の確保
働き方改革の評価と改善点
・一部改革効果あり、改革の進展が遅れている
・改善点：適材適所、行事や授業時間見直し、若手職員の負担解消
・業務負担軽減と効率を進め、より効果的な教育環境を目指す
最終的な目標
・職員がいきいきと働ける環境の整備
・社会全体への貢献を果たすための持続可能な改革の推進
業務の見直し
・無駄な作業の省略　・職員が本来の業務に集中できる環境の整備
外部専門家の導入
・サポート体制の強化
デジタル化の推進
・業務効率化を図るためのデジタルツールの導入

◆議員の感想、その他
・非常に練り上げられた発表であったと感じている。調べるだけではなく、実際に聞き取りなども行われたとのことで、私たちも勉強になった。
・また資料だけではなく、発表後の質疑応答に際してもこちらが投げ掛けた質問に対して的確に回答いただいた様子や、事実を基にそれぞれの考えを聞かせていただいた際も、しっかりと学びを踏まえた形で自身の考えを述べており、我々としても非常に有意義な時間となった。グループ全員がすばらしかったが、発表いただいた３名の方は質疑応答でも特に的確に回答していた。

〇厚生消防委員会（阪本委員長、桝井副委員長）

◆テーマ（課題）

少子高齢化社会にあって、子育てしやすいまちをめざすことは大変重要です。子育ての不安解消、経済的負担の軽減などできることはたくさんあると思います。奈良市は令和６年３月に子育てニーズ調査の結果を公表しています。奈良市が実際にやっている施策、全国的な取組を参考にしながら、さらにこんなことがあればいいなということを提案してください。子どもの年齢を就学前、小学校、中学校、高校、大学に分けると考えやすいかもしれません。

◆学生の発表内容

２演題（２名の方から発表していただいた）

・子育て満足度の変化について

子育てに関しても、情報については、ＳＮＳから入手している場合が多い。また、ＳＮＳの活用で情報が得やすくなっている。かつてのように、親族や知人よりも聞きやすい。その結果、子育てもしやすくなっているのではないか。

・子育てにおけるジェンダー課題について

大人になる過程で、自分の性の問題に直面している子供も多い。自分の周りにも悩んでいる人はいた。ジェンダー問題の教育を学校で、もっとしないと育ちやすい環境にはならない。少子化対策にもジェンダー教育が必要だと考える。

◆発表に対するコメント、質疑応答、意見交換

・子育てについても、情報をＳＮＳから入手する人が多く、ＳＮＳに有効な情報が入っていれば、子育ての支援にはなるのではないか。

・行政が役立つ情報を発信していくべきではないか。

・子育てをしている親の苦労はなかなか分からないので、親目線で子育ての情報を発

信すべきではないか。
・子供たちが自立するには、料理や身の回りのことを教える教室があったらいいのではないか。
・経済的な問題があり、結婚して子供をつくるという発想はあまりピンとこない。そんな若者も多いのではないか。

議員より質問
・子育て支援（児童手当）について、所得制限があることはどう考えるか？
→多くの学生から、余裕のある人には手当は要らないのではないかとの意見が出た。
→議員からは、所得で区切りをつけることはあまり良くないとも考えるとの意見を添えた。

議員より意見
・そもそも学生が借金を背負って大学を出ることがおかしい。負担なく教育を受けられる制度が必要と考えている。
・経済的に子育てを諦めてしまう労働環境も改善が必要と考えている。

◆議員の感想、その他
・学生の中には、中学時代に自分の性に違和感を持つ友達がいて、悩んでいる姿を見てきた。学校教育の中にＬＧＢＴＱの教育がなされていない。非常に不十分だと思うと発言する方がいた。また、これからも積極的に発信していきたいとも発言していた。その姿に大変感銘を受けた。声を上げて、社会を変えることにこれからも興味を持っていただきたいと思った。こちらも、大変勉強にもなり、若返ることもできる。継続的に学生さんと交流ができるといいなと思った。議員として、とてもいい場を設けてもらえたと感謝している。

〇市民環境委員会（山本直子委員長、下村副委員長）

◆テーマ（課題）

マイナンバーカードの普及と利用促進、市役所窓口の混雑緩和のためという目的で行われている住民票などのコンビニ交付。奈良市は、「コンビニ交付１０円」を期間限定で行っています。
この「１０円」交付はほんとうに安い？みなさんで少し調べて考えてみて下さい。

◆学生の発表内容

・コンビニ交付事業について
・住民票など証明書発行事業について
・財源について（国庫補助、市費、交付手数料など）
・「１０円」が安いかどうかについての考察

◆発表に対するコメント、質疑応答、意見交換

・「１０円」の根拠は、コンビニ印刷代ではないか。
・最初は、「１０円交付」は安いとしか思えなかった。
・先生から、仕組みを見てみる、「高い」と思って考えてみるなどのアドバイスをもらった。
・事業を行うにはただではできず、自分たちの納めたお金が使われていると知ると、一概に「安い」とは言えない。
・表面的には「安い」と思ったが、仕組みを見ると、安くはないかもしれない。
・無駄遣いせず、納めたお金を市民に還元しているのは、いいことだと思う。
・「１円を笑う者は１円に泣く」というように、１０円にも価値があり、ありがたい。
・マイナンバーカードは全員取得しており、運転免許証の取得時や奨学金申込時の証明書交付に活用した。
・コンビニ交付は便利。
・コンビニ交付が浸透していない理由は、あまり知られていないからではないか。
・とりあえず役所に行けば何とかなるという意識が強いのではないか。

◆議員の感想、その他

・事実、事象をどのような切り口で見るかによって評価が異なる、物事の仕組みがどうなっているかという視点で見ることで世の中が面白くなるという学びにつながればうれしい。
・行政や税金の使われ方に関心を持つ、きっかけになったのではないか。
・大変難しいテーマだったというフィードバックがあったので、こちらからヒントとなるデータを渡しても良かったと思う。

〇建設企業委員会（早田委員長、榎本副委員長）

◆テーマ（課題）

「高の原駅前再整備計画について」
高の原エリアは、奈良市・木津川市・精華町の３市町にまたがる平城・相楽ニュータウンで、まちびらき５０周年を迎え、奈良市では、官・民・地域の協議によるまちづくりも進行中です。
多世代がつながる「高の原らしさ」と暮らしの魅力の発信など将来的な在り方についてプレゼンしてください。

◆学生の発表内容

『高の原エリアの今後の展望』
高の原の今後の在り方、発展を続けるにはどうすべきか。

「高の原の魅力」
・自然豊かな場所　・ショッピングと生活の利便性　・歴史と文化
「高の原が不便なところ」
・観光地からの距離感　・交通の便に一部制限　・住宅価格がやや高め
・大型ショッピングモールへの依存　・交通渋滞の発生
「高の原の在り方、これからも高の原を発展させていくには？」
住みやすく魅力があふれる街にしたい。そのためには？
①公共交通機関の充実
②多世代共生型の住宅開発
③教育・保育施設の充実
④地域コミュニティの活性化
⑤商業施設と公共空間の整備

まとめ

・高の原は、まだまだ発展が可能である。より良い街にするために、これからも様々なアイデアを出して発展を続けてほしい。

◆発表に対するコメント、質疑応答、意見交換

・今回のテーマについて、現状の課題から今後の展望を学生の視点でプレゼンしていただいた。発表の中でも高の原エリアは、日頃から学生の皆さんの多くが通学で利用している「近鉄高の原駅」もあり、地域の雰囲気を身近に感じている中で、学生の視点での地域現状の課題を分析した上で、今後の展望についても考えていただけた。

・内容的には、しっかりと分析しており、今後の展望についても、かなり活発な意見や様々なご提案をいただいた。

発表後の意見交換

【学生の皆さんからの具体的な意見及び要望の内容】

・多世代がつながる自然豊かな公園の活用。

・街のアピール及びイベント等をＳＮＳにより情報発信（ＹｏｕＴｕｂｅ動画等）。例えば行政、民間、学生の連携。

・周辺の歩道等が暗い箇所があり、防犯的にも明るい街灯の整備。街のにぎわいとしてはライトアップ等。

・エリア内のサイクリングコースの整備。

・駅のリニューアル（地下施設による保育や教育施設の充実。また、安全なシェルター）。

・楽しく食事ができるキッチンカー。また、他の地域からのお客さんへのごみ分別箱の設置。

・気軽にできるスポーツやスポーツ観戦等。

◆議員の感想、その他

・限られた時間の中だったが、学生の皆さんから、様々なご意見及びご提案をいただくことができ、大変有意義なワークショップであったと思う。

・特に、意見交換では、全員の学生さんからそれぞれの活発な提案もあり、そこから将来の展望としての新しいアイデアなども大変参考になった。

・多世代がつながる「高の原らしさ」と暮らしの魅力発信については、ＴｉｋＴｏｋやＹｏｕＴｕｂｅ等の動画での積極的な情報発信と、地域の高齢者の方々には、チラシの配布等の周知も大切であるとのご意見もいただいた。

・今回のテーマ「高の原駅前再整備計画について」のワークショップでは、様々なご意

見やご提案をいただいたので、学生の皆さんからのご意見、ご要望、アイデアについては、奈良市都市政策課にも情報共有させていただく。